

日本語を世界に広め、日本文化のファンを増やしたい!

× TOPA21世紀語学校訪問記 (高円寺)

国際化の進展の中で、日本語学校の実情について学ぼうと、7月5日、1988年以来長年にわたり日本語教育を行ってきたTOPA21世紀語学校を訪問し、水田穰作理事長にお話を伺いました。

「今年からようやく法務省から文科省の管轄になりました」と水田理事長。これまで日本語学校は、不法就労の隠れ蓑になるのを防止するために法務省の管轄にあったものが、日本語教育の必要性が高まる中でようやく文科省の管轄になったとのこと。

「最初は韓国、そして中国、タイ、ミャンマー、インドネシア、ベトナム——」日本に来る留学生も時代によって変わってきているとのこと。なるほど区内の在住外国人の動向とも重なるところがあると感じました。

「アルバイトは週28時間以下、アルバイトができる国は日本ぐらいです」日本では留学生のアルバイトは週28時間以下に規制されていますが、それでもアルバイトできることは魅力です。留学してすぐにアルバイトが出来る国は日本ぐらい、そうした留学生がコンビニなどで働いて地域を支えているのも現実ですとのこと。

「100人中、約90%が進学、今後はもっと増えていく」TOPAでは1年間日本語を学んだあと大学や専門学校などに進学すること、今後ますます人材が不足する日本にとって日本語学校の重要性はますます高まっていくのではとのこと。

「日本語を世界に広め、日本文化のファンを増やしたい!」そんな思いで語学校を設立したという水田理事長。学校名の「TOPA」には、「TOP-Aを目指す」、「どんな困難な壁も突破(TOP-PA)する」という思いが込められているとのこと。「昔は現地で授業料を持ち逃げされたこともありましたが」、「でも一人でも多くの人に日本の良さを知ってもらいたい」という思いで学校を運営してきたという水田理事長。その熱い情熱に胸をうたれた2時間でした。(広報T.K)



水田理事長

韓国レポート

アンニョンハセヨ。杉並区文化・交流課の関根です。私は2024年7月から12月まで派遣職員として、杉並区の交流自治体である韓国ソウル特別市瑞草区文化観光課で働いています。

瑞草区はソウル市の中でも一番面積が広い区(47km²)で区の北側は、企業のオフィスや商業施設、高級住宅が立ち並ぶ一方で、南側は緑豊かな地域が広がっている素敵なおところです。教育や子育ての面でも人気な区として知られています。

また芸術の面も充実していて、最近では、高速ターミナル駅から盤浦漢江公園までをつなぐ地下通路に壁画が連なる、韓国最長のアートギャラリー(約500m)が完成しました。中でも交流協定を結んでいるスペインのマラガ観光庁が瑞草区と協力して作った「ピカソ壁画」は鮮やかな色彩で思わず写真を撮ってしまうこと間違いなしです。皆さんも機会があれば、ぜひ訪問してみてください。

今回は私が韓国に来て驚いた、食事の文化を紹介しま

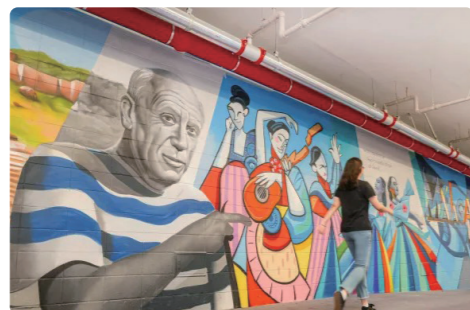
す。まず日本では挨拶の時に天気の話をよくしますが、韓国ではそれと同じくらいご飯を食べたかの確認をします。「お昼は美味しく食べましたか?」「何を食べましたか?」などと、エレベーターの待ち時間や、廊下ですれ違った知り合いと確認し合うことがあります。ご飯をきちんと食べているか確認することで、相手に関心があることを伝えるという気遣いから来ているようです。

そして韓国ではみんなで食事をする習慣が日本よりも多くあります。特に違うのは、職場の昼食です。日本ではお弁当を自席で食べることが大半でしたが、韓国では同じチームの人達と食べに行くことが基本です。そして食後は、カフェに行ってコーヒーを飲みながら話をします。チーム以外の人とご飯に行くときは、「今日は約束があります」と一言断ってから外に行くのがマナーです。お弁当を席で食べる人もいますが、「ダイエット中で仕方なく」など理由がある人が多いです。私も韓国の文化に少しずつ慣れていきたいと思っています!

(文化・交流課 関根虹彩)



発令式にて瑞草区長と



ピカソ壁画



ランチのあとに寄った雰囲気の良いカフェ

Event Information from SACE

交流イベント情報

QRコードから
ご覧下さい。



すぎなみ交流ニュース

第74号

2024年10月

Suginami Cultural Exchange News



스기나미 교류 소식
杉並的交流消息

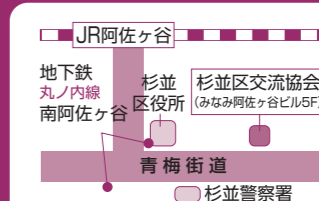
発行：一般財団法人 杉並区交流協会
[Suginami Association for Cultural Exchange(SACE)]

〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-14-2 みなみ阿佐ヶ谷ビル5階

[Minami-Asagaya Bldg. 5F 1-14-2 Asagaya-Minami, Suginami-ku, Tokyo 166-0004 Japan]
TEL.03-5378-8833 FAX.03-5378-8844 E-mail : info@suginami-kouryu.org

<https://suginami-kouryu.org/>

◆年4回発行◆ 協会情報誌は区内施設窓口、区内の駅広報スタンドなどに置いてあります。



目次

- 子ども日本語教室「忍野村とうもろこし体験」ほか..... 2
- 外国人のためのイベント「防災について学ぼう」ほか..... 3
- 日本語を世界に広め、日本文化のファンを増やしたい! ほか..... 4

「まるごと台湾フェア 2024～自然台湾」開催!

中学生の野球交流や東京高円寺阿波おどり公演などで杉並区が交流を重ねる台湾。今年は「自然台湾」をテーマに、自然豊かな台湾の魅力を紹介します。



【日 時】 2024年11月16日(土) 10:00～16:00
【会 場】 セシオン杉並(杉並区梅里1丁目22-32)
お車での来場はご遠慮ください。

【内 容】

〈講演〉第6・7集会室(事前申込制/抽選)
定員：各回45名

- 「阿里山、豊かなヒノキの森林と阿里山鉄道」
講師：片木 裕一さん
10:30～12:00
参加費：無料

〈特別講演〉

- 「個性豊かな台湾の四季」
講師：片倉 佳史さん
13:00～15:00
参加費：1,000円



台湾在住作家
片倉 佳史さん

(終了後、希望者には展示室で「台湾の鳥」の解説もあります。)

〈ワークショップ〉料理室(事前申込制/抽選)
*小学生以上(小学生は保護者同伴で)

- 「台湾茶の楽しみ方～お話と試飲」
講師：林 太一(りん たいい)さん
① 10:00～10:30 ② 11:00～11:30
定員：各回18名 参加費：各500円
- 「恵みの台湾茶～山と海の旅」
講師：張 茹涵(ちょう じょかん)さん
① 12:30～13:15 ② 14:00～14:45
定員：各回16名 参加費：各500円



講演・ワークショップの申込み ▶ 杉並区交流協会ホームページから、10月31日(木)までに申込み

そのほか、自然をテーマにした展示、音楽、民族舞踊などのステージ(当日整理券配布)のほか、大人気の台湾グルメ、特産品も販売します。夜市遊びコーナーもあります。詳しくはホームページをご覧ください。

- 【主 催】 一般財団法人 杉並区交流協会
- 【共 催】 杉並区
- 【後 援】 台北駐日経済文化代表処/台湾文化センター/台湾観光庁・台湾観光協会
- 【協 力】 台湾新聞社/中央線あるあるPROJECT
- 【問合せ】 一般財団法人 杉並区交流協会 Eメール : info@suginami-kouryu.org
Tel : 03-5378-8833 (平日8:30～17:15) HP : <https://suginami-kouryu.org/>



子ども日本語教室「忍野村とうもろこし体験」

7月31日
(水)

小学校・中学校も、子ども日本語教室もお休みになる夏休み。さまざまな国から来た日本語を母語としない小中学生たちは友だちもまだ少なく、夏休みになってもあそぶ機会に恵まれない子もいます。

子ども17人、先生・子ども日本語支援ボランティアたちを乗せたバスは、富士山のふもとをめざしました。バスの中は、おしゃべりの声が途絶えません。車中は、子どもたちが日本の生活習慣やルールを学ぶ場でもありました。

最初の訪問地、忍野八海に近い畑では、農家の天野さんからトウモロコシのむぎ方を教えてもらい、背よりもずっと高いトウモロコシの畑に入りました。小学生は、「おもしろかった」「疲れなかった」「力をいれなくてもとれた」と言っていました。

収穫のあとは、忍野村立「さかな公園-富士湧水の里水公園」へ移動して昼食。茹でてもらったトウモロコシ

は、びっくりするほど甘く、やわらかい。おにぎりを食べ終えた子どもたちは、水遊びのできる池でびしょぬれになりながら大はしゃぎ。

最後は、公園内にある「森の学習館」で、自然の恵みを使った工作です。館の菅田さんの説明を聞き、用意していただいた木の実、乾燥させた葉、針葉樹の緑の葉や枝などを木板に接着して、イメージを作品にします。元気いっぱい動き回っていた子も、静かに集中して、森の様子を描いたり、来る途中で見た2羽のツバメを描いたり、木の枝やネコジャラシなどを巧みに使った立体的な作品を作ったり、個性豊かな作品が完成しました。

子どもたちは、初めての体験をしながら、友だちとおもいきり母語でも話せ、楽しい夏の思い出になったようです。子どもたちとペアになって一緒に動いていたボランティアのみなさん、おつかれさまでした。(広報S)



五感で感じる交流自治体 第1弾 / 群馬県東吾妻町

6月26日(水) 開催

会場：阿佐谷地域
区民センター

講師：こんにゃく生産者
水野さん・村上さん

東吾妻町の特産品、こんにゃく芋を使った体験イベントでは、参加者が講師の指導でこんにゃく作りを体験し、新鮮なこんにゃく芋の独特の食感と風味を楽しみました。参加者たちは手作りのこんにゃくの味に感動し、さらにこんにゃくを使った多彩な料理やお菓子も紹介され、その美味しさに驚きました。

外国人参加者からは、「日本のヘルシー料理に興味があり、こんにゃくについて知ることができて良かった」といった感想や、「とても美味しかった。生産者に感謝したい」との声が寄せられました。この体験を通じて、東吾妻町のこんにゃく芋の魅力が広まり、日本の食文化に対する関心が深まったことが実感されました。



東吾妻町の皆さん(右から講師の水野さんと村上さん)



外国人のためのイベント 防災について学ぼう

2024年7月11日(木)、杉並消防署で杉並区在住外国人57名が集まり、防災について学ぶイベントが開催されました。

消火器の使い方、煙体験、実際の煙の中での逃げ方などを教えてもらい、起震車で震度7の揺れや119番通報の体験をしました。

煙の中を逃げるには壁伝いに低姿勢で逃げるのが良いということや、起震車では揺れが収まるまで机の下にいること、119番通報では日本語と英語で対応可能なことがわかった等の感想がありました。

この日は町内会ボランティアの方などのご協力もあり、大変充実したイベントになりました。

皆さん防災意識が高くなった、とても良い体験だったと喜んでいました。(広報0)



杉並消防署にて

多文化・多様性を祝う国 カナダを知る

8月19日(月)開催
会場：杉並区交流協会会議室



カナダ講座講師のニコさんと参加者の皆さん

カナダの大学から東京大学に交換留学で来日中の小檜山(こびやま)ニコラ大地さん(ニコさん)を講師に、カナダの歴史や文化、風土、暮らし、食文化、スポーツ、日本人移民の歴史、住んでいるバンクーバーの街等々、カナダを丸ごと学びました。カナダは移民を受け入れていて、いろいろな人種、いろいろな宗教の人がいっしょに住んでいる国で、公用語は英語とフランス語です。多様性を端的に示しているのはニコさんの家族です。父方の祖父母はモロッコ生まれのフランス人とクロアチア人、母方の祖父母がフランス系カナダ人(フランス語圏のケベック人)と日本人、そしてニコさん自身はバンクーバーという英語圏の街で生まれ育ち、学校ではフランス語の教育を受け、家庭では日本語とフランス語を話しているとのこと。(広報S)

「やさしい日本語」講座

9月4日・9月11日開催
会場：杉並区役所分庁舎

むずかしい言葉を言い換えるなど、相手に配慮したわかりやすい「やさしい日本語」の講座が9月に2回開催されました。

前半は講師の日本語教師深田みのり先生の講義、後半はグループに分かれて外国人の方との実践演習を行いました。

参加者からは、やさしい日本語に言い換えるのは思ったよりもむずかしい、表情やジェスチャーの大切さがわかった、今後の外国人との会話に生かしていきたいなどの声が聞かれました。外国人の方からも日本語の勉強になった、このような機会が増えたら日本人と外国人住民がもっと分かり合えると思うなどの感想が聞かれました。

日本人も外国人もお互いに笑顔の絶えないすてきな講座となりました。

